



キャンパスタウン金沢 サポート事業ってなあ〜に?

金沢区では、関東学院大学、横浜市立大学と平成20年11月に協定を締結し、大学の専門的な知識や学生の行動力、斬新で柔軟な発想を生かしたまちづくり「キャンパスタウン金沢」を進めています。

今回「キャンパスタウン金沢サポート事業補助金」による2つの取組を紹介します。



子どもたちに届け! 科学の面白さ



関東学院大学LINKAI横浜金沢ラボ 教職研究室 須田 理華子さん



7月28日(日)、三井アウトレットパーク横浜ベイサイドで開催された環境保全イベント「エコWEEK」にて、科学実験のワークショップを行いました。当日は、真夏の日差しが照りつける日曜日でしたが、オープン早々、子どもたちで大盛況でした。特に人気があったのは迫力満点の水素ロケット実験。手回しの発電機で水を電気分解して水素を生み出し、空高く発射しました。光でON/OFFケミカルウォーター実験では、小さなお子

も科学者になりきって、楽しく試薬を調合しました。試薬は、熱帯魚の薬や食品添加物を使用するなど、安全でエコな実験となるよう研究室メンバーで考えたものです。



高く飛んでうれしい!

子どもの理科離れを食い止めるため、こうしたイベントをとおして理科の面白さ、実験の楽しさを、子どもたちに伝えています。科学に魅了される子どもの姿を見ることができ、未来の教員仲間たちと喜び合いました。



光を当てた箇所が透明になってびっくり!

みんなで「まち保育プロジェクト」社会科見学&ピザづくり



横浜市立大学三輪研究室 大石 あかりさん



ピザ生地をハート型に

8月9日(金)、パルシステム横浜南センターにて、並木に住んでいる子どもを対象にした「社会科見学&ピザづくり」を開催しました。当日は、小学3~5年生の計6名が参加し、研究室の5名の学生が運営を行いました。紙パックの再利用などパルシステムの環境に配慮した取組を学んだあと、粉から生地をつくる本格的なピザづくりを体験しました。初めは緊張していた子どもたちも、完成したピザを食べる頃にはすっかり打ち解けて「みんなで楽しく作ったから美味しかった」「紙パックを再利用するのがすごいと思った」とうれしそうに話していました。

紙パックは再利用してるんだ!

三輪研究室では、子どもに場や機会を開き、身近な地域社会と一体となって、まちで子どもが育っていく土壌づくりをする「まち保育プロジェクト」を進めています。今回の取組のほかにも、妊婦を対象にしたゆっくり歩行するまち歩きやお産歩マップの作成、シーサイドタウンの公園を中心とした子ども外遊びプロジェクトなども行っています。これからも学生ならではの視点で、地域と子どもと一緒にまちづくりに貢献していきます!



焼けたかな?



いただきま〜す!



このスタンプがついている地域の活動は、第4期金沢ささえあいプラン地区別計画の中に記載されている事業です。詳細は、こちら➡



金沢区地域力通信 「地域と奏でるハーモニー」
バックナンバーは、こちら➡

